

まちづくり通信



長く続いた新型コロナウイルスの緊急事態宣言も終了し、徐々に通常の生活が戻ってきました。駅前イベントなども再開し、駅前に活気が出てきたのはうれしいことです。

個別家族相談会を開催しました

8月末から10月にかけて、個別家族相談会を開催し、今までに22家族とお話をしました。

みんなの前では聞けなかったことを気軽に聞けたり、個人や家族の事情に合わせて相談をされていたので、とても良い機会となったと思います。

今後も定期的に個別相談会を開催していく予定ですので、よろしくお祈りします。また、こういった相談会でなくても、いつでも相談に乗りますので、準備組合のことや事業のことなど、何かありましたらお気軽に理事までご相談ください。



多治見市視察 好評につき第2弾！

モデルルーム見学会

再開発事業で新しく出来る、私たちが住むお部屋はどんな感じになるのでしょうか？

前回の視察でモデルルームを見学しましたが、大変好評だったため、2回目の視察を9月30日に行いました。準備組合からは、女性の方を中心に5名の方が参加しました。

視察の直前に、多治見駅南の再開発のマンションは完売しましたので、今回のモデルルーム見学は、閉鎖する前の最後のチャンスでした。参加者の方は、実際にマンションのモデルルームを見学・体験・体感して、お部屋のイメージを膨らませられたようです。



参加者の声

思ったより広かった！
こんなお部屋に住んでみたい！
ドラマの中の暮らしのようだ！
しっかり勉強して具体的に今後の暮らしを考えている人もいたので見習いたい！

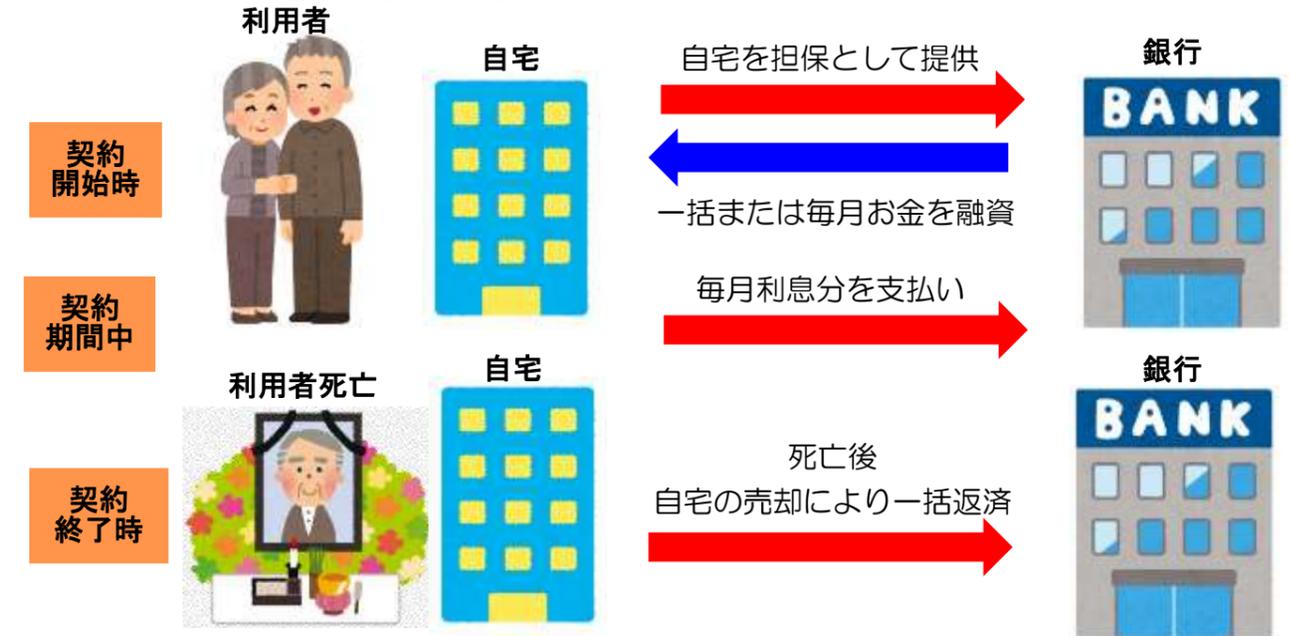


まちづくり講座 皆様の疑問を解決します！

Q 床を購入したいが、全額支払う分の資金はない。どうすれば？

A 高齢者であれば、自宅を担保に資金を借り入れできる「リバースモーゲージ」というローンの制度があります。

リバースモーゲージとは、自宅を担保に資金を借入れ、継続して自宅に住み続け、借入人が死亡したときに担保となっていた自宅を処分し、借入金を返済する仕組みです。今回は、一般的なりバースモーゲージの仕組みを紹介します。



- 金融機関が取り扱うリバースモーゲージでは借入人が生存中に毎月利息分のみ支払い、元金は借入人の死亡後に相続人が自宅を売却することなどにより一括で返済します。
- 金融機関にもよりますが、リバースモーゲージ型住宅ローンでは一般的に55歳あるいは60歳以上の人を対象にしていることが多いですが、50歳から申込みができるところもあります。
- 相続人がいる場合、リバースモーゲージ利用に際しては相続人の同意をきちんと得ることが大切です。
- 利用できる条件、資金の使いみち、融資の限度額やその他商品内容は、金融機関ごとに異なります。再開発ビルでも利用できるよう金融機関に働きかけをしていきます。岐阜県内の金融機関でもリバースモーゲージの取り扱いがありますので、参考にしてください。

準備組合の活動

- ・12月14日(火) 第9回 理事会
オブザーバー交代・理事新規加入のお知らせ
- ・オブザーバーとしてご支援いただいていた、瑞浪市商工会議所の橋本孝晴専務理事は9月30日付でご退任されました。10月1日付で新しいオブザーバーとして小島博和専務理事を選任しましたのでお知らせします。
- ・10月から、9街区塚本幸治さんと瑞浪市が新たに理事に加わりました。
これからどうぞよろしくお願いいたします！

